

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【公開番号】特開2005-232169(P2005-232169A)

【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2005-26999(P2005-26999)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 7/075

C 1 1 D 1/10

C 1 1 D 1/14

C 1 1 D 1/20

C 1 1 D 1/28

C 1 1 D 1/29

C 1 1 D 1/90

C 1 1 D 1/92

C 1 1 D 1/94

C 1 1 D 3/04

C 1 1 D 3/37

【F I】

A 6 1 K 7/075

C 1 1 D 1/10

C 1 1 D 1/14

C 1 1 D 1/20

C 1 1 D 1/28

C 1 1 D 1/29

C 1 1 D 1/90

C 1 1 D 1/92

C 1 1 D 1/94

C 1 1 D 3/04

C 1 1 D 3/37

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

化粧品として受容可能な水性媒体中に以下を含む洗浄化粧組成物：

- 少なくとも一つのアニオン性界面活性剤及び以下から選択する少なくとも一つの両性界面活性剤：(C<sub>8</sub>～C<sub>24</sub>)アルキルアミド(C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>)アルキルベタイン、スルホベタイン、(C<sub>8</sub>～C<sub>24</sub>)アルキルアミド(C<sub>6</sub>～C<sub>8</sub>)アルキルスルホベタイン、(C<sub>8</sub>～C<sub>24</sub>)アルキルアンホモノアセテート、(C<sub>8</sub>～C<sub>24</sub>)アルキルアンホジアセテート、(C<sub>8</sub>～C<sub>24</sub>)アルキルアンホモノプロピオネート、(C<sub>8</sub>～C<sub>24</sub>)アルキルアンホジプロピオネート及びホスホベタイン、この場合、アニオン性界面活性剤／両性界面活性剤の質量比率は1に等しいか又はそれより小さく、

- カチオン性荷電密度が 5 meq / g より大きい少なくとも一つのカチオン性ポリマー

- 組成物の全質量に対して少なくとも 1 質量 % の少なくとも一つの無機又は有機の水溶性塩、この場合、この塩のアニオンは 1 ~ 7 の炭素原子を含み、

組成物中の界面活性剤の総量は、組成物の全質量に対して、18 質量 % に等しいか又はそれより少ない。

【請求項 2】

アニオン性界面活性剤 / 両性界面活性剤の質量比率が 0 . 1 ~ 1 であることを特徴とする、請求項 1 に記載の洗浄組成物。

【請求項 3】

組成物中の界面活性剤の総量が組成物の全質量に対して 4 質量 % ~ 18 質量 % であることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

アニオン性界面活性剤を以下から選択することを特徴とする、先の請求項 1 ないし 3 に記載の組成物：アルキルスルフェート、アルキルエーテルスルフェート、好ましくは 2 又は 3 モルのエチレンオキシドを含むもの、アルキルエーテルカルボキシレート、アルキル基は 6 ~ 24 の炭素原子を含み、ナトリウム、マグネシウム又はアンモニウム塩の形態にあるもの。

【請求項 5】

両性界面活性剤を以下から選択することを特徴とする、先の請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の組成物：(C<sub>10</sub> ~ C<sub>24</sub>) アルキルアミド (C<sub>3</sub> ~ C<sub>8</sub>) アルキルベタイン及び (C<sub>10</sub> ~ C<sub>24</sub>) アルキルアンホジアセテート。

【請求項 6】

5 meq / g より大きい荷電を有するカチオン性ポリマーが組成物に可溶性であることを特徴とする、先の請求項 1 ないし 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

組成物が透明であることを特徴とする、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

カチオン性ポリマーが 5 ~ 20 meq / g の荷電密度を有することを特徴とする、先の請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の透明な化粧組成物。

【請求項 9】

カチオン性ポリマーを以下から選択することを特徴とする、先の請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載の組成物：ジアルキルジアリルアンモニウムハライドホモポリマー及びコポリマー、ジ 4 級アンモニウム又はポリ 4 級アンモニウム繰り返し単位を含むポリエチレンイミン及び重縮合物。

【請求項 10】

組成物がカチオン性ポリマーを組成物の全質量に対して 0 . 01 質量 % ~ 10 質量 % の量で含むことを特徴とする、先の請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 11】

水溶性塩が 25 ~ 650 g / mol のモル質量を有することを特徴とする、先の請求項 1 ないし 10 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 12】

水溶性塩を以下から選択することを特徴とする、先の請求項 1 ないし 11 のいずれか 1 項に記載の組成物：塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム、塩化マグネシウム、塩化アンモニウム、塩化モノエタノールアミン、ナトリウムシトレイト、アンモニウムシトレイト、マグネシウムスルフェート及びリン酸のナトリウム塩。

【請求項 13】

組成物が水溶性塩を組成物の全質量に対して 1 質量 % ~ 25 質量 % の範囲の量で含むことを特徴とする、先の請求項 1 ないし 12 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 14】

請求項 1ないし13 のいずれか 1 項に記載の組成物の、ケラチン物質を洗浄するための使用。

【請求項 1 5】

請求項 1ないし13 のいずれか 1 項に記載の組成物の、ケラチン物質を洗浄しつつコンディショニングするための使用。

【請求項 1 6】

請求項 1ないし13 のいずれか 1 項に記載の化粧組成物の有効量をケラチン物質に適用し、任意の残置時間後に rinses することをふくむ、ケラチン物質を処置する化粧方法。